

ARMYTEK Prime C1 Pro 日本語取扱説明書

製品仕様

1. 日常携帯ライト(EDC ライト):

コンパクトな設計で持ちやすく、使いやすいサイドボタンを採用。

滑りにくく傷に強いマット仕上げ(粗いローレット加工なし)。

強力な内蔵マグネット付きテールキャップ、頑丈な着脱式スチールクリップ、そしてパラコード製ランヤードを装備。

2. スポーツ用ライト:

耐久性と軽量性に優れた航空機グレードのアルミ合金ボディを採用。

耐衝撃性能を強化し、フリッカーフリー(ちらつきなし)の安定した照明を実現。

さまざまな取り付け方法に対応し、スポーツギア用マウントなどのオプションアクセサリーにも対応。

3. キーチェーンライト:

さらに携帯性を高めたコンパクトで軽量な設計。

テールキャップにはキーリングまたはランヤードを通すためのホールを装備。

- プロ仕様のマルチカラーインジケーション(温度・バッテリー残量・状態表示)

- 広範囲を照らすワイドビームと大きなホットスポット。

完全に刷新された光学システムを搭載し、反射防止コーティング付き強化ガラスで TIR レンズを保護。

- 革新的な技術により、あらゆる標準 18350 Li-Ion バッテリーを使用可能。

マグネットコネクタが金属に触れても短絡(ショート)防止機能を備える。

- リアルタイム温度制御機能により、+58° C を超える過熱を防止。

- 完全防水・防塵・防汚構造(IP68 準拠)。

水深 10m での水没後も動作し、最大 10m の落下にも耐える設計。

- 頑丈で防水性の高いマグネット式コネクタを採用。

仕様表

Prime C1 Pro 基本性能

	WHITE モデル	WARM モデル
光最大出力	1000lm	930lm
照射最大距離	114m	112m
充電時間	1 時間(USB 給電専用マグネット充電器)	
製品サイズ	長さ 67 mm/ 最大直径 24.5 mm	
重量	47 g/ 72 g(バッテリー込み)	
保護性能	IP68, 10m 浸水で 5 時間動作, 10m 落下耐性	

上記の仕様は付属の電池を用い、ANSI/PLATO FL1-2019 規格に基づいて試験した結果です。データは使用環境、放熱条件、その他要因により変動する可能性があります。

Prime C1 Pro モード一覧

モード	WHITE モデル	WARM モデル	動作時間
Turbo2	1000 lm (350 lm)	930 lm (325 lm)	1 時間 25 分
Turbo1	350 lm	325 lm	1 時間 35 分
Main3	210 lm	195 lm	2 時間 35 分
Main2	100 lm	93 lm	6 時間 30 分
Main1	40 lm	37 lm	15 時間
Firefly3	8 lm	7.4 lm	2.2 日
Firefly2	2.5 lm	2.3 lm	5 日
Firefly1	0.15 lm	0.14 lm	40 日
Strobe3	1000 lm/10 Hz	930 lm/10 Hz	2 時間 20 分
Strobe2	1000 lm/1 Hz	930 lm/1 Hz	3 時間 35 分
Strobe1	100 lm/1 Hz	93 lm/1 Hz	29 時間

※Turbo2 モードは安全のため 2 分 20 秒後に出力を抑えます

セット内容

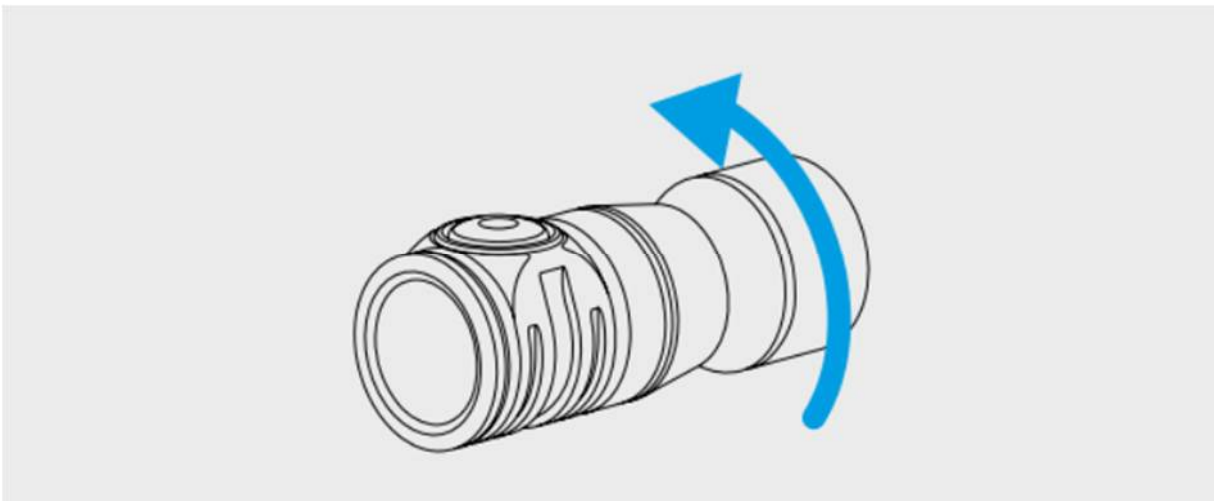
- フラッシュライト本体
- 18350 Li-Ion バッテリー(900 mAh)
- マグネット式 USB 充電ケーブル
- クリップ
- ランヤード(ストラップ)
- 予備 O リング
- 取扱説明書

メーカーは、本マニュアルの内容を変更することなく、パッケージ内容を予告なく変更する権利を有します。

また、製品仕様も予告なく変更される場合があります。

初期セットアップ

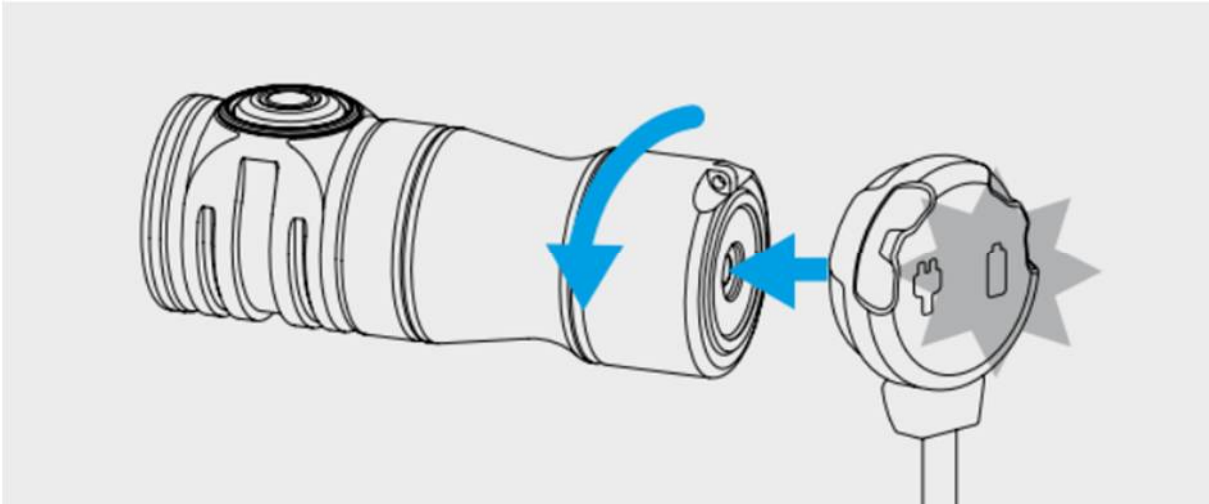
バッテリーの装着／交換方法



1. テールキャップを取り外します。
2. バッテリーのプラス極(+)をライトヘッド側に向けて挿入します。
3. テールキャップを装着し、しっかりと最後まで締めます。

これでフラッシュライトの準備が完了し、使用可能な状態になります。

マグネット式充電ケーブルの接続方法



テールキャップを 1/4 回転ゆるめ、
その端部にマグネット式充電ケーブルをしっかりと装着してください。

充電器のカラーインジケーション(表示ランプの意味)

充電ケーブルが未接続のとき:

- 緑点灯 — デバイスが待機状態です。

充電ケーブルを接続したとき:

- 赤点滅 — 充電を行うために、テールキャップを 1/4 回転ゆるめてください。
- 赤点灯 — 規定の充電電流で充電中です。
- 緑点灯 — 充電完了を示します。

extoffice Trading 追記

マニュアルに記述はありませんが、低い充電電流で充電する場合は橙点灯になります。

橙点滅になる場合は、充電器と Prime C1 Pro のテールキャップ部分をきれいにすると充電可能になります。

充電器の反応が悪い場合は、先に Prime C1 Pro に接続した後、USB 端子を充電元に接続すると解決することが多いです。

操作方法

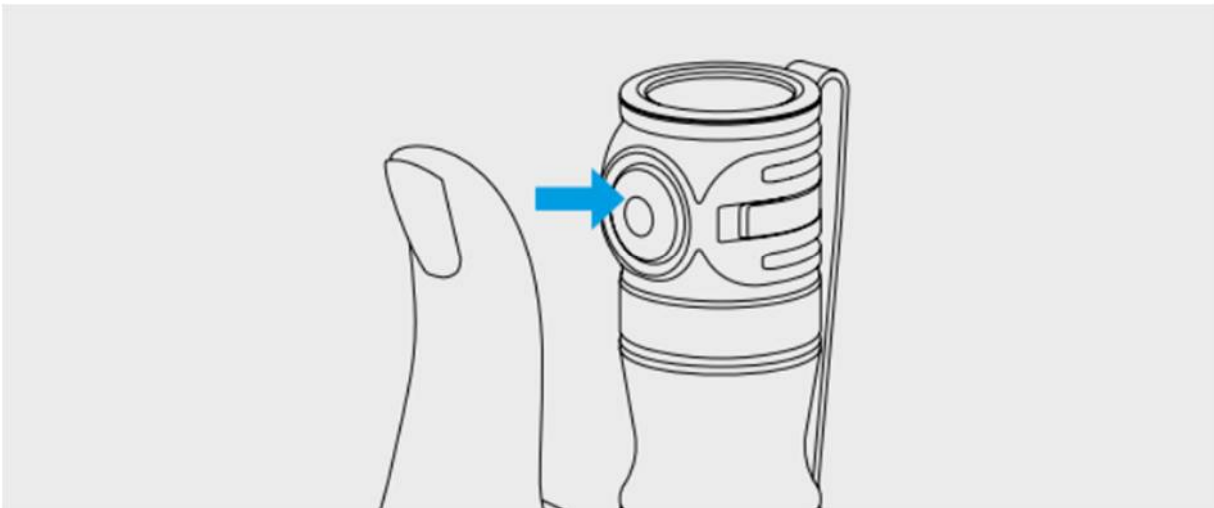
使用前の準備:

テールキャップをしっかりと最後まで締めてください。

基本タイプ(GENERAL TYPE)

利用可能なモード:

- Firefly1
- Firefly2
- Main モード群
- Turbo モード(アドバンスモードで最後に使用されたモード。初期設定では Turbo2)



消灯時(OFF 状態)

- 1 クリック: 最後に使用したモードで点灯。
- ボタン長押し: Firefly モードを順に切り替え(Firefly1 → Firefly2)。
希望の明るさでボタンを離すとそのモードを選択。
押し続けると、続けて Main モード群の切り替えに入ります。

点灯時(ON 状態)

- 1 クリック: 消灯。
- ボタン長押し: どのモードからでも Main モード群を順に切り替え。
Firefly1 モードから操作する場合は、まず Firefly モード群の切り替えが完了した後に

Main モード群へ移行します。

希望のモードでボタンを離して選択します。

- **2 回クリック:** どのモードからでも Turbo モードを起動。
さらにもう一度ダブルクリックすると、直前に使用していたモードに戻ります。

アドバンスモード(ADVANCED TYPE)

操作モードを切り替えるには、ライトが消灯している状態でテールキャップを 1/4 回転緩め、ボタンを押したままテールキャップを再び締め込みます。

これにより、操作タイプが切り替わります。

モードの分類

- [1] Firefly モード(超低輝度)
- [2] Main モード(通常照明)
- [3] Turbo モード(高輝度)
- [4] Strobe モード(点滅)

消灯時(OFF 状態)

- **1 クリック:** 最後に使用したモードで点灯。
- **ボタン長押し:** Firefly1 モード(セクション 1)で点灯。
そのままボタンを押し続けると、
Firefly1 → Firefly2 → Firefly3 → Main1 → Main2 → Main3 → Turbo1
の順にモードが循環します。

点灯時(ON 状態)

- **1 クリック:** 消灯。
- **ボタン長押し:** 現在のセクション内でモードを循環切り替え。

共通操作(点灯・消灯状態どちらでも有効)

- **2 回クリック:** Main モード(セクション 2)に切り替え。
さらに 2 回クリックすると、Firefly モード(セクション 1)と Main モード(セクション 2)の間を切り替え。
- **3 回クリック:** Turbo モード(セクション 3)に切り替え。
- **4 回クリック:** Strobe モード(セクション 4)に切り替え。

自動記憶機能

ライトを消灯すると、最後に使用したモードが自動的に記憶され、次回点灯時に同じモードからすぐに再開できます。

ロックアウト機能

誤って点灯するのを防ぐために、テールキャップを 1/4 回転ゆるめてください。マルチカラーインジケータもオフになります。

安全な高輝度モード

ターボモードは、ライト本体の温度やバッテリーの放電電流が臨界値を超えるまで最大の明るさを発揮します。

安全なソフトスタートシステム

点灯時の負荷を抑えることで、連続使用時間を延ばし、バッテリー寿命を向上させ、過放電や過熱からバッテリーを保護します。

リアルタイム温度制御機能

温度が約 +58° C に近づくと、明るさを自動的に下げてライトやバッテリーの過熱、および LED の劣化を防ぎます。

冷却状態が良好な場合は、明るさを落とすことなく連続点灯が可能です。

バッテリー残量およびライト温度のインジケーション

このフラッシュライトには、マルチカラーLED による温度・バッテリー残量・状態表示機能(ボタン内のカラーLED による表示)と、バッテリー低下時のメイン LED による警告表示が搭載されています。

ライトが点灯中(ON 状態)のときは、マルチカラーによるバッテリー残量・温度インジケーション、および低電圧警告が作動します。

ライトが消灯中(OFF 状態)のときは、マルチカラーによる状態表示が行われます。

バッテリー残量が 25%以上の場合

ボタン内のカラーLED が 4 秒ごとに 1 回、緑に点滅します。

バッテリー残量が低下した場合(約 25%未満)

ボタン内のカラーLED が 2 秒ごとに 1 回、オレンジに点滅して警告を示します。

さらに電圧が下がると、バッテリーと使用者の安全を確保するために明るさが段階的に減少します。

モードの明るさが (Firefly モードと Main1 を除いて) 公称値の約 25%以下に下がると、メイン LED が 2 回点滅します。

バッテリー残量が約 10%未満の危険レベルになると、ボタン内の LED が 1 秒ごとに 1 回赤く点滅します。

高温時の表示

ライトの温度が警告レベルに達すると、ボタン内の LED が 2 秒ごとに 3 回オレンジに点滅します。温度がさらに上昇し臨界レベルに達すると、LED が 1 秒ごとに 3 回赤く点滅し、明るさが安全なレベルまで自動的に減少します。

マルチカラー状態インジケーション(OFF 時)

消灯時でも、ボタン内の LED が 4 秒ごとに短く点滅し、バッテリー残量を示します(バッテリーが危険レベルになるまで継続)。

この表示は、暗闇でライトを見つけやすくする補助機能としても役立ちます。

マルチカラーインジケーションのオン/オフ切り替え

マルチカラーインジケーションには 3 つの動作モードがあります：

1. Firefly モードおよび OFF 状態ではインジケーションがオフ(デフォルト設定。Firefly モードでは 10 秒後に自動オフ)
2. どの状態でもインジケーションがオン
3. どの状態でもインジケーションがオフ

extoffice Trading 追記

消灯時に草むらに落としても位置がわかるようなビーコンとして使う場合は、2.常時 ON の状態にしておく必要があります。この場合、テールキャップを閉めた状態では常にビーコンが光ります。

動作モードの切り替え方法

1. フラッシュライトを消灯状態にする。
2. テールキャップを 1/4 回転ゆるめる。
3. ボタンを押したまま、テールキャップを締めてから再び 1/4 回転ゆるめる。

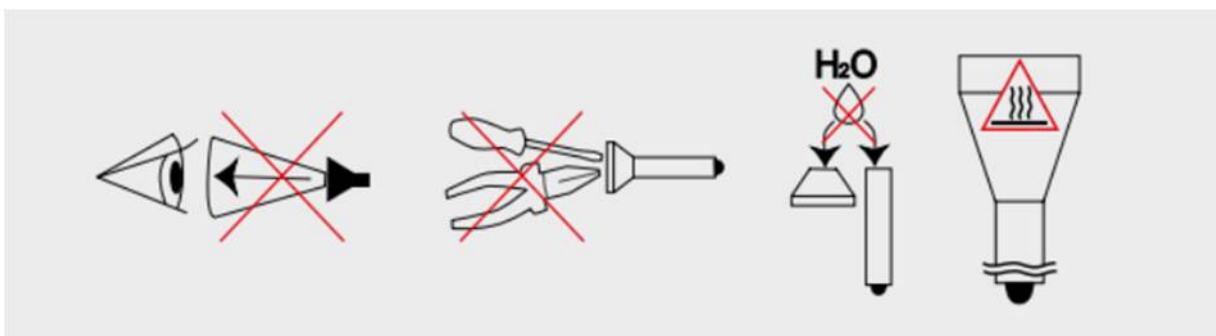
これにより、インジケーションのモードが順番に切り替わります。
設定はバッテリーを交換しても保持されます。

超低消費電力設計により、マルチカラーインジケーションは長期間動作します。

警告

- フラッシュライトを安全かつ効果的に使用するために、**ブランド品の 18350 Li-Ion 電池**または **16340 Li-Ion 電池**(PCB なしの保護回路非搭載タイプ、または 4A 放電電流を保証する PCB 付きタイプ)の使用を推奨します。
- Turbo モード、Strobe2、Strobe3 では、短時間でライトが高温になり、バッテリーを高電流で消耗します。
非常に明るい光は周囲の物体を加熱し、**火災の原因になる可能性があるため**、点灯中は決して放置しないでください。
- フラッシュライトをポケットやバッグなどに収納・持ち運ぶ際は、**ロックアウト機能を必ず有効化し**、誤って点灯しないようにしてください。
- 周囲温度が 0° C 未満の環境では、フラッシュライト内での充電を行わないでください。

使用上の注意



1. この取扱説明書およびバッテリー使用に関する推奨事項に必ず従ってください。
2. 指定された電源(バッテリー)のみを使用してください。
3. バッテリーの極性を逆にしないでください。

4. フラッシュライトおよびその構成部品の改造・再加工は行わないでください。これにより保証が無効になります。
5. フラッシュライト内部に水分やその他の液体が侵入しないようにしてください。
6. 点灯中のライトを人や動物の目に向けしないでください。一時的な失明を引き起こすおそれがあります。
7. 子どもだけで使用させないでください。必ず保護者の監督下で使用してください。

製造者は、誤った使用によって生じた損害については一切の責任を負いません。

お手入れと保管について

ねじ部や Oリングに付着した汚れや古いグリスは、年に 1~2 回程度の清掃を推奨します。シーリングが摩耗していると、防水・防塵性能を十分に保てません。また、汚れの蓄積やグリス不足は、ねじ山や Oリングの早期劣化を引き起こす原因になります。

ねじ部の清掃方法

1. テールキャップを取り外し、つまようじなどを使って Oリングを慎重に外してください。
※金属製の鋭利な工具は Oリングを傷つける恐れがあるため使用しないでください。
2. Oリングを柔らかい布やティッシュで丁寧に拭き取ってください。
※溶剤は使用しないでください。
もし Oリングが摩耗・損傷している場合は、新しいものと交換してください。
3. 金属のねじ部はエタノールを含ませたブラシで清掃してください。
ただし、液体がライト内部に入らないよう十分に注意してください。
内部に液体が入ると故障の原因になります。

清掃後は、ポリアルファオレフィン系シリカグリス(例: Nyogel 760G)を使用して、ねじ部および Oリングを軽く塗布してください。

他の種類のグリスを使用することは推奨されません。

砂塵の多い環境で頻繁に使用する場合は、必要に応じてより短い間隔で清掃・グリスアップしてください。

長期保管時の注意

長期間ライトを保管する際に、特に使い捨て電池(非充電式)を入れたままにしておくことはお勧めしません。

電池の液漏れにより、ライト内部が損傷する恐れがあります。

スタンバイ状態で電池を入れたまま保管する場合は、

- **新品で高品質な電池を使用する**
- **適正な温度環境で保管する**
- **少なくとも月に1回は電池の状態を確認することを強く推奨します。**
もし膨張・液漏れなどの異常が見られた場合は、**速やかに電池を取り外し、適切に廃棄してください。**

保証およびアフターサービス

Armytek は、**購入日から10年間の無料保証修理**を提供します。

ただし、**バッテリー・充電器・マウント・ホルダー・スイッチ・コネクタ**については、**2年間の保証期間**となります。

保証を受ける際は、購入を証明する書類(領収書など)の提示が必要です。

保証の対象外となる部品

以下の部品および消耗品は保証対象外です:

- マグネット
- コネクタやボタンのシリコンカバー
- シリコン製取り付けリングおよびホルダー
- クリップ
- シリコン製グリップ
- ホルスター
- ランヤード
- Oリングおよびパッド
- 面ファスナー(ベルクロテープ)

保証が無効となる使用条件

以下のような状況で発生した損傷については、保証の対象外となります：

1. 誤った使用方法による損傷
2. 非専門業者による分解・改造・修理の試み
3. 塩素を含む水、汚染水、海水などでの使用
4. 防水性が失われた状態での液体への浸漬
5. 高温環境や化学物質(漏れたバッテリー液などを含む)への曝露
6. 低品質または不適切なバッテリーの使用

Armytek は、上記のような不適切な使用や取り扱いによって生じた損害については、保証および修理の責任を負いません。